

(第三種郵便物認可)

(総合)

アジアアパレルものづくりネットワーク

3月にオンライン展実施

デジタル上で来場者を可視化

中国やASEANに生産工場を持つ企業で構成するアジア・アパレルものづくりネットワーク(AAP)は、オンライン展示会を3月8〜12日に実施する。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、今回の措置となった。オンラインで視聴したサンプルや技術資料を確認できる展示会を3月31日〜4月2

日、OMPシヨールム(東京都渋谷区)で行う。AAPの会員数は現在60社。アジアに拠点がある縫製企業を中心に、生産国における情報交換を行っている。近年はスマートファクトリーを掲げ、生産効率化を目指している。

オンライン展には、サンプル、小島衣料、ファッションコニシ、片山縫製、OMP、ロックス、湯澤ソーイング、アスマ高間の9社が出展。小ロット、短納期生産やシームレス縫製、デジタル技術で企業を変革するデジタルトランスフォーメーション(DX)を導入した企画生産を提案する。サンウェルや東海サーモ、アペイルなど協賛企業もオンライン展で自社の強みを訴求する予定。AAPの宮崎守理事は「大量生産型のビジネスモデルから脱却し、DXで時間とコストの削減が求められている」と話す。AAPが商社やアパレル関係者などへ周知し、約1千組の来場者を見込む(オンライン展のみ)。服飾系の学生も視聴可能とし、持続可能な商材提案やジェンダーレスといった参加企業の取り組みなども紹介する。

「映像を駆使したほか、独自の編集で飽きさせないホームページに仕上げた」としている。オンラインからリアル展に送客することも想定し、オンラインで視聴したサンプルや技術資料をデジタル上で可視化。視聴した人をリストアップする体制も整える。